

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2007-313349(P2007-313349A)
【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-047
【出願番号】特願2007-197796(P2007-197796)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月25日(2008.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

打玉を遊技領域に打込んで遊技が行なわれる弾球遊技機であって、
表示状態が変化可能な複数の可変表示部と、
打玉が入賞することにより前記複数の可変表示部のうちの対応するものを可変表示させるように定められた複数の始動入賞領域と、
該複数の始動入賞領域のいずれかへの打玉の始動入賞を所定の上限の範囲内で記憶する手段であって、該始動入賞が前記複数の可変表示部のうちのどの可変表示部に対応したものであるかを特定可能に記憶する始動記憶手段と、
該始動記憶手段に始動入賞の記憶があるときに、前記複数の可変表示部のうち該始動入賞の記憶に対応する可変表示部の表示状態を変化させた後に表示結果を導出表示させる可変表示制御を実行する可変表示制御手段と、
前記複数の可変表示部のうちのいずれかの可変表示部の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者にとって有利な特定遊技状態を発生させる遊技制御手段とを含み、
前記可変表示制御手段は、
前記特定遊技状態中は、前記特定の表示態様となっていない可変表示部について、当該可変表示部に対応する前記始動入賞領域に打玉が始動入賞しても前記可変表示制御を実行せず、さらに、
前記複数の可変表示部に対応する始動入賞が前記始動記憶手段に記憶されているときに、当該記憶されている始動入賞の発生順序にかかわらず所定の優先順序にしたがって前記可変表示制御を実行することを特徴とする、弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】弾球遊技機

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、たとえば、パチンコ遊技機やコイン遊技機等で代表される弾球遊技機に関し、詳しくは、打玉を遊技領域に打込んで遊技が行なわれ、予め定められた特定遊技状態の発生により遊技者にとって有利な遊技状態となる弾球遊技機に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

この種の弾球遊技機において、従来から一般的に知られているものに、たとえば、遊技領域に打込まれた打玉が始動入賞領域に入賞する等によって予め定められた表示結果導出条件が成立したことにより、複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置の表示結果が導出表示され、その表示結果が予め定められた特定の表示態様となった場合に特定遊技状態が発生して遊技者にとって有利な遊技状態となるように構成されていた。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

一方、この種の従来の弾球遊技機は、可変表示部の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に特定遊技状態が発生するように定められた可変表示装置が 1 個しか設けられていなかったために、その 1 個の可変表示装置の可変表示部による可変表示が単調となりがちであり、今一步変化に富んだ面白味のある可変表示遊技を提供することができないという欠点があった。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

請求項 1 に記載の本発明は、打玉を遊技領域に打込んで遊技が行なわれる弾球遊技機であって、

表示状態が変化可能な複数の可変表示部と、

打玉が入賞することにより前記複数の可変表示部のうちの対応するものを可変表示させるように定められた複数の始動入賞領域と、

該複数の始動入賞領域のいずれかへの打玉の始動入賞を所定の上限の範囲内で記憶する手段であって、該始動入賞が前記複数の可変表示部のうちのどの可変表示部に対応したものであるかを特定可能に記憶する始動記憶手段と、

該始動記憶手段に始動入賞の記憶があるときに、前記複数の可変表示部のうち該始動入賞の記憶に対応する可変表示部の表示状態を変化させた後に表示結果を導出表示させる可変表示制御を実行する可変表示制御手段と、

前記複数の可変表示部のうちのいずれかの可変表示部の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者にとって有利な特定遊技状態を発生させる遊技制御手段とを含み、

前記可変表示制御手段は、

前記特定遊技状態中は、前記特定の表示態様となっていない可変表示部について、当該可変表示部に対応する前記始動入賞領域に打玉が始動入賞しても前記可変表示制御を実行せず、さらに、

前記複数の可変表示部に対応する始動入賞が前記始動記憶手段に記憶されているときに、当該記憶されている始動入賞の発生順序にかかわらず所定の優先順序にしたがって前記可変表示制御を実行することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[作用]

請求項 1 に記載の本発明によれば、表示状態が変化可能な複数の可変表示部と、打玉が入賞することにより前記複数の可変表示部のうちの対応するものを可変表示させるように定められた複数の始動入賞領域とを有し、始動記憶手段の働きにより、複数の始動入賞領域のいずれかへの打玉の始動入賞が所定の上限の範囲内で記憶され、かつ、その始動入賞が複数の可変表示部のうちのどの可変表示部に対応したものであるかが特定可能に記憶される。可変表示制御手段の働きにより、始動記憶手段に始動入賞の記憶があるときに、複数の可変表示部のうち該始動入賞の記憶に対応する可変表示部の表示状態を変化させた後に表示結果を導出表示させる可変表示制御が実行される。そして、その複数の可変表示部のうちのいずれかの可変表示部の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者にとって有利な遊技状態となる特定遊技状態が発生する。また、可変表示制御手段の働きにより、特定遊技状態中は、特定の表示態様となっていない可変表示部について、当該可変表示部に対応する始動入賞領域に打玉が始動入賞しても可変表示制御が実行されず、さらに、複数の可変表示部に対応する始動入賞が始動記憶手段に記憶されているときに、当該記憶されている始動入賞の発生順序にかかわらず所定の優先順序にしたがって可変表示制御が実行される。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 1 0 4
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 1 0 4】

請求項 1 に関しては、可変表示部を複数有し、その複数の可変表示部のいずれかの可変表示部の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、前記特定遊技状態が発生するために、特定遊技状態の発生に關与する可変表示部が複数となり、1つの可変表示部に比べて可変表示の面白味が向上する。また、特定遊技状態中は、特定の表示態様となっていない可変表示部について、当該可変表示部に対応する始動入賞領域に打玉が始動入賞しても可変表示制御が実行されず、さらに、複数の可変表示部に対応する始動入賞が始動記憶手段に記憶されているときに、当該記憶されている始動入賞の発生順序にかかわらず所定の優先順序にしたがって可変表示制御が実行される。

【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 1 0 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 1 0 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 1 0 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 1 0 8

【補正方法】削除
【補正の内容】